

## 写真・スケッチ



## 説明（商品名、製造所、使用方法、歴史、時代背景 など）

八洲秀章先生が愛用され、作曲や歌唱指導にも使われたと思われるピアノで、八洲先生の奥様である鈴木利子さんから寄贈されたものです。

SEILER(ザイラー:創業1849年・ドイツ)社製のピアノで、製造は1903年(明治36年)7月頃といわれています。

世界三大銘木「チェリー材」を使用し、種類の異なった木材を嵌め込んだドイツの伝統の手法が用いられ、美しい花柄の象嵌細工(ぞうがんざいく)の入ったピアノの芸術品ともいえます。

ザイラー社製のピアノは、1910年にイタリア王室御用達品となり「万国博覧会」で数々の賞を受賞し、名匠の高い芸術ピアノとして世界中で評価されたといえます。

ちなみに、右写真のオルガンは、明治38年頃に製造された山葉(ヤマハ)製の足踏み式オルガンですが、真狩小学校から寄贈されたもので、八洲秀章先生も小学校に通っていた時代、練習に使用していたと思われるオルガンです。

